

一般公募制推薦入試【資格・面接型】（コミュニティ福祉学科）Q&A

2018年4月1日改訂版

【出願までのフローチャート】

◆入試ガイドとQ&Aを見て

- ①「コミュニティ福祉学科が求める学生像」(Q1)を確認する
- ②入試ガイドの出願資格を見て、(3)と(4)のどちらで出願するかを考える

出願資格(3)で出願を考える場合

出願資格(4)で出願を考える場合

◆取得している資格が出願資格(3)に記載されているかどうかを確認する。

◆自分の活動が出願資格(4)の内容に該当するかどうかをQ3とQ4を読んで確認する。

記載がある

記載がない

該当する

該当しない

【出願可】

【出願不可】

【出願資格確認申請】

【出願不可】

Q10を確認の上、必要書類を準備して出願してください。

「出願資格(4)で出願を考える場合」に進み、再度検討してください。

Q5～9を読んで、以下の手順で出願資格確認申請を行う。

別の受験方法を検討してください。

【出願資格確認申請】

確認申請受付期間

1期：7/2～7/12
2期：9/4～9/14

- ①「出願資格確認申請(活動実績証明)書」をダウンロードして必要な事項を記入してください(パソコンが望ましい)。
- ②記入したものを1部印刷(手書きの場合はコピー)し、入試広報部宛に郵送する(Q6)。(結果を知らせるメールを受信する(Q9))

通知日

1期：7/23
2期：9/25

出願資格・有

出願資格・無

【活動実績証明書(印あり)の作成】

- ①Q7に従って、記入済みの「出願資格確認申請(活動実績証明)書」に証明(印)を押してもらう。
- ②Q10を確認の上、必要書類を準備してください。

【出願不可】

別の受験方法を検討してください。

必要書類を確認し、郵送により出願してください(出願期間 10/25(木)～11/1(木))。

1. 求める学生像

（求める学生像：アドミッションポリシー）

Q1：資格・面接型入試ではどのような学生を求めていますか？

A1：本入試では、アドミッションポリシーを踏まえ、福祉という人間同士が支えあう営みに関心があり、一般・福祉系企業、NPO、行政機関、医療・福祉分野など、社会で活躍するための「社会そうぞう力」「協働実現力」「問題解決力」を身につけ、地域住民とともにすべての人々が幸せに暮らすことができる社会をつくるソーシャルウーマンを目指したい学生、社会福祉士の資格を取得してソーシャルワーカーになりたい学生、障がい者スポーツの資格を取得したい学生、ボランティア活動に関心や経験のある学生を求めます。本学科の学びでは社会的な視点が求められるため、社会系の科目に関心のある学生や高校で福祉関連の科目を履修した学生を求めます。コミュニティ福祉学科のアドミッションポリシーは下記を参照してください。http://www.kinjo-u.ac.jp/pc/policy_admission/depart_science.html

2. 出願資格

（出願資格（3）に関する内容）

Q2：出願資格に認められる資格は（3）に記載されているものだけですか？

A2：その通りです。記載されている資格以外の資格については（3）に該当しません。ただし、記載のない資格を活用して、（4）に該当する活動に取り組んだ場合には、Q3を参照の上、（4）での出願を検討してください。

（出願資格（4）に関する内容）

Q3：出願資格（4）の中で、「学校外での個人のボランティア活動」とはどのような活動で行った実績のことでしょうか？また、「地域や社会への貢献活動を学校の特別活動あるいは課外活動で行った実績」とはどのような活動実績のことでしょうか？

A3：さまざまな資格・検定等を活用するなどにより、他者とのコミュニケーションが豊かになったり、他者を支えるなど「人間同士が支えあうこと」の実現に貢献することを目的として、高校入学後から出願資格確認申請前までの間に、一定期間（本入試ではトータルで3日以上、もしくは3回以上とします。）、取り組んだ活動実績をいいます。具体的には以下のものです。

A：個人もしくは個人で所属するボランティアグループのメンバーとして学校外で行った活動

- ・地域におけるスポーツやレクリエーションに関連した支援経験
- ・児童、高齢者、障がい者等の施設実習で役立つ、音楽や美術を用いた芸術活動やスポーツ経験
- ・子育て支援活動で求められる歌や手遊び、朗読等の活動実績
- ・外国人を支援するための外国語を活用した活動実績

B：特別活動として行った活動（*学校から配布（提示）されたリスト等によりボランティアを行った場合を含む。）

- ・学習指導要領に定められる特別活動*の中で、出願を考えている生徒自身が自発的に企画・運営に取り組んだ活動であり、かつ学科のアドミッションポリシーに相当

する福祉的活動（例えば、男女相互の理解と協力、他者への理解と尊厳、国際理解と国際交流、心身の健康や生命の尊重など、に関連した積極的な活動実績）

※特別活動とは「ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事」をいいます。（「高等学校学習指導要領」平成21年3月より）。なお、次項の課外活動とはこれら特別活動を除いた、部活動や課外授業をいいます。

C：課外活動として行った活動（*学校から配布（提示）されたリスト等によりボランティアを行った場合を含む。）

- ・部活動の活動を通じた子ども、高齢者や障がい者への支援経験
- ・出願要件に該当する資格（入試ガイド p.25 を参照のこと）に関連する技能の全国・地方大会への出場
- ・課外活動として部活動等で実施した募金活動への活動協力
- ・障がい者スポーツの学びにつながるような、部活動での経験

個人の活動実績ならびに特別活動や課外活動での活動実績による出願を考える場合は、次項、**3. 出願資格確認申請**のQ5～9をよく読んだ上で、出願資格確認申請（活動実績証明）書を作成し、事前に出願資格確認申請を行ってください。（出願資格確認申請を行っていない受験生については出願資格を認めることができません。）

なお、上記のBまたはCで出願資格確認申請を行う場合は、出願時に証明が必要になりますので、確認申請を行う前に在籍する高校の先生に相談しておいてください（Aの場合も、証明していただけるかどうかを可能であれば事前に相談しておくことをお勧めします）。

（活動実績の基準）

Q4：出願資格（4）の中で、「学校外での個人のボランティア活動」、または「地域や社会への貢献活動を学校の特別活動あるいは課外活動」について、複数回（トータルで3日以上、もしくは3回以上）行ったものに限るのはなぜですか？

A4：コミュニティ福祉学科では、アドミッションポリシーにもあるように、本学科での学びを生かして継続的に地域や社会で活躍できる学生を求めています。本入試では、一定期間（本入試ではトータルで3日以上、もしくは3回以上とします。）地域や社会に貢献する活動を行った経験を有していることを評価したいと考えているためです。

3. 出願資格確認申請

（出願資格確認申請）

Q5：出願資格確認申請とは何ですか？

A5：出願資格確認申請とは、一般公募制推薦入試【資格・面接型】（コミュニティ福祉学科）に、出願資格の（4）により出願しようとする際に、出願資格の有無を確認することを言います。出願資格（4）による出願を考えている場合は必ずこの出願資格確認申請を行ってください。

Q6：出願資格確認申請はどのように行えばよいのでしょうか？

A6：出願資格確認申請を行う際には、「出願資格確認申請（活動実績証明）書」をダウンロード

ドして、必要事項を記入の上、《出願資格確認申請についての注意》に従って下記の期間に本学入試広報部宛に郵送してください。

《出願資格確認申請についての注意》

●送付に際しては、任意の封筒に朱書きで「出願資格確認申請書類在中」と記入の上、必ず簡易書留郵便にて郵送してください。

●確認申請受付期間

- ・第1期：7月2日（月）～7月12日（木）締切日必着
- ・第2期：9月4日（火）～9月14日（金）締切日必着
（提出済みの書類は、その理由の如何を問わず一切返却できません。）

●出願資格確認申請書類郵送先（必ず簡易書留郵便にて郵送してください）

〒463-8521 名古屋市守山区大森2-1723

金城学院大学 入試広報部

- ・必要書類：出願資格確認申請（活動実績証明）書

なお、「出願資格確認申請（活動実績証明）書」の記入に際しては、作成例を参考にしてください。記入はパソコンが望ましいです。ただし、手書きの場合は記入後に1部コピーし、原本は手元に残してコピーを郵送してください。また、Q8の通り、出願資格確認申請の際には、証明（印）はなくてもかまいません。

（活動実績証明）

Q7：活動実績の証明はどのように取得すればよいのでしょうか？

A7：活動実績は、出願資格確認申請の結果が「有」と判定された場合に、出願までの間に下記の要領で証明（印）を受けてください。

A：個人の活動の場合は、原則として1ヶ所でトータル3日以上の活動について、活動場所が1ヶ所の場合は1枚にまとめて、活動場所が異なる場合はそれぞれに確認申請書を用意して、ボランティア活動を行った組織・団体にて証明を受けてください。ただし、障がい者スポーツ大会などイベントのボランティアは1回として認めますので、その場合は主催者団体から、その都度、証明を受けてください。その場合、出願資格は、トータル3回以上に限りますので、活動実績が合計で3回分となるよう、申請書を3枚作成し、それぞれについて代表者の証明（印）を受ける必要があります。

B：特別活動の場合は、トータル3回以上を活動実績として、一括して学校長の証明（印）を受けてください。

C：課外活動の場合は、トータル3回以上を活動実績として、一括して学校長の証明（印）を受けてください。

なお、証明（印）を受けた活動に関して、資格証や検定に関する認定証もしくは表彰状等がある場合には、参考資料としてA4版にコピーしたものを、出願資格確認申請（活動実績証明）書に同封してもらってもかまいません。

Q 8 : 出願資格確認申請を行う際に、申請書にある代表者の印は必要ですか？

A 8 : 不要です。ただし、確認申請で「有」と判定された場合は、本出願時に、必ず、代表者の印をもらってから、その他の書類とともに郵送してください。

なお、個人活動の場合、活動証明（印）は活動先の様式でもかまいません。その場合、本出願時には活動先の証明書（原本）を記入済み（証明部分を除く）の「出願資格確認申請（活動実績証明）書」に添付（同封）して郵送してください。

（出願資格の確認結果の通知）

Q 9 : 出願資格の確認結果はいつ頃、どのように通知されるのでしょうか？

A 9 : 出願資格の確認結果の通知は出願資格の有無に関わらず、出願期間ごとに、sikakumensetsu@kinjo-u.ac.jp から申請書に記載されているメールアドレス宛に返信します。

第 1 期（7 月 2 日（月）～7 月 12 日（木））は 7 月 23 日（月）

第 2 期（9 月 4 日（火）～9 月 14 日（金））は 9 月 25 日（火）

※通知日から 3 日を過ぎてもメールの受信がない場合は、必ず入試広報部（0120-331791）まで連絡してください。

4. 出願

（出願書類）

Q10 : 出願書類としてどのような書類を提出する必要がありますか？

A10 : 「入学願書」「志望理由書」（入学試験要項に同封のもの）、在籍する高等学校が発行する「調査書」のほかに、出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

出願資格（3）：「資格証」（A4 版にコピーしたもの）※

出願資格（4）：「出願資格確認申請（活動実績証明）書」（証明（印）有）

なお、（4）で出願する場合で記載内容の資料となる資格証や検定に関する認定証、表彰状等が確認申請後に発行された場合は、参考資料として A4 版にコピーしたものを同封してもらってもかまいません。

※介護福祉士の取得見込者については、在籍高校が発行する卒業見込証明書（介護福祉士として必要な知識および技能を修得して卒業見込であること）を提出すること。

5. 入試全般に関するお問い合わせ

（その他、入試に関する全般的な質問）

Q11 : 上記にない質問をしたい場合にはどうすればよいですか？

A11 : 本入試に関することがらは、7 月 8 日（日）または 8 月 11 日（土・祝）に開催するオープンキャンパスに参加していただき、直接、コミュニティ福祉学科に尋ねてください。

また、本学の入試全般に関するご質問は下記までお問い合わせください。

金城学院大学 入試広報部

〒463-8521 名古屋市守山区大森2-1723

TEL : 0120-331791（入試相談フリーダイヤル）

E-mail:nyushi@kinjo-u.ac.jp

◇「出願資格確認申請（活動実績証明）書」記入例

一般公募制推薦入試【資格・面接型】（コミュニティ福祉学科）

受付番号	※1・2ー	※有・無
------	-------	------

※大学記入欄

この書類はパソコンで作成するようにしてください。
（手書きの場合、文字や記号を判別できるようわかりやすく記入してください。）

（記入日）2018年 ○月 ○日

出願資格確認申請（活動実績証明）書

一般公募制推薦入試【資格・面接型】（コミュニティ福祉学科）の出願資格（4）に関して、以下のとおり出願資格の確認を申請します。

申請者 氏名	(フリガナ) キンジョウ ハナコ 金城 花子	生年月日	西暦 2000 年 4 月 30 日生		
連絡先	〒 463 - 8521 名古屋市守山区大森2-1723				
	自宅電話	052- 798 - 0180	携帯電話	090- 1234 - 5678	
	メールアドレス	hanako@kinjo - u. ac. jp			
在籍 高校名	学校名	愛知県立○○○高等学校	学科	普通科（全日制）	

【申請区分／申請内容】（申請区分・証明者ごとにこの用紙を用意し、下記を参考にして記載してください。）

申請区分	具体的な活動内容	活動日・期間	活動先名称
A	放課後、知的障害のある子どもたちの施設で、行事等のボランティアを月に1~2回の頻度で行っている。	2017年 4月 25日（～活動中） （活動回数：2回×○ヶ月）	福祉型児童発達支援センター○○園
B	生徒会活動の一環として、地域の子ども会活動に参加し、子どもたちの学習の手伝いをした。	2017年 8月 25日 （活動回数：1日・1回）	○○地区子ども会
C	部活動として、各学期に1回、老人ホームに出向き、レクリエーション活動を行なった。	①2017年 4月 25日 ②2017年 10月 25日 ③2018年 2月 25日 （活動回数：3日・3回）	①②特別養護老人ホーム ○○会○○苑 ③特別養護老人ホーム △△会△△苑

上記の記載内容について証明いたします。

2018年 ○月 ○日

学校／組織・団体

代表者役職・氏名

証明者は、申請区分が
Aの場合、活動先または参加団体の代表者
B・Cの場合、在籍高校の校長